



世界のいろいろな国のあいさつをしてみよう！


茨木市立葦原小学校

教科	外国語活動	単元名	Hello !
----	-------	-----	---------

本単元で育む主な情報活用能力

G-STEP 1, F-STEP 2

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- (教科等でつきたい力)
- 世界にはさまざまな言語があることに気づくとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。
 - 調べた外国の挨拶を使い、コミュニケーションをとる。(学校図書館等の活用でつきたい力)
 - 外国の言葉に関する本を読んで、外国の言葉に興味を持ったり、生活に役立たせたりしようとする。

単元における学習の展開（全2時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 世界のいろいろな国の挨拶を知る。(☆) 世界のいろいろな国の挨拶をして、名前を言い合う。(☆) (本時)
--------------	---

本時のねらい

- 調べた外国の挨拶をして、名前を言い合うことができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	<p>1. 前時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を活用して、世界の挨拶をふりかえる。 いろいろな国の言語で挨拶をし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書の音声を復唱することで、発音に慣れるようにする。 全員が同じ言語を使って挨拶をし合うようにする。
展開 (30分)	<p>2. 外国の挨拶をして名前を言い合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語で挨拶をして名前を言い合う。 グループごとに外国の言葉の本を読み、いろいろな国の挨拶の仕方を調べる。 調べた挨拶をしながら名前を言い合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>会話の例 (A:ベトナム B:韓国 の場合)</p> <p>① A: チャーオ B: アンニョン</p> <p>② AB: Rock-Scissors-Paper 1・2・3.</p> <p>③ A: I'm Taro. B: I'm Hanako.</p> <p>④ AB: Good bye.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ① 調べた国のあいさつ ② 英語でジャンケン ③ 名前を言う (例: I'm ○○) ④ あいさつ (例: Good bye) <ul style="list-style-type: none"> 外国の言葉の本を交換し、調べたりコミュニケーションをとったりする活動を繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの流れを板書しておく。 挨拶の他にどんなコミュニケーションがあるのかも合わせて調べられるようにする。 交流をする際には、挑戦したい人は、「私の名前は～」や「さようなら」など、調べた表現を使ってよいことを伝える。 調べた言語でのコミュニケーションが難しい児童には、英語でのコミュニケーションを促す。
まとめ (5分)	<p>3. 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな国の挨拶をして感じたことをふりかえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語を使って友だちとコミュニケーションをとることの楽しさを感じられるようにする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

外国の言葉に関する本を活用することで、教科書に掲載されている挨拶の他にも、さまざまな国のあいさつがあることに気付くことができるようにした。全体では、「挨拶」「名前を言う」という二つのコミュニケーションに絞ったが、本を使って調べることで、その他の挨拶や会話文に触れることができるため、自由にコミュニケーションを増やしてもよいことを伝えた。そのため、「さようなら」や「ありがとう」などの表現も調べた言語で行う児童もいた。

また、正しい発音にこだわりすぎるのではなく、いろいろな国の言葉を使ってコミュニケーションをとることの楽しさを感じられるようにすることを重視した。コミュニケーションの本来の目的である、人との心の距離を縮めることの良さを感じられるように、表情やジェスチャーのポイントも伝え、笑顔溢れる温かな時間となるように心がけた。



自分が調べた言語を使ってコミュニケーションをとる様子。歩き回りながらたくさんの方と交流している。